

平成20年1月29日
ウィンワークス株式会社

仕事量・要員需要予測に基づき勤務スケジュールの最適化を行う

「WINWORKS™ One」ソフトウェアのバージョン2.0を提供開始

～高精度な勤務シフト・要員配置管理により、ビジネス機会損失を低減～

ウィンワークス株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：渡邊邦昭、以下 ウィンワークス）は2月1日より従来の機能および操作性を大幅に改善した勤務シフト管理ソフトウェア「WINWORKS™ One」バージョン2.0の提供を開始致します。

本ソフトウェアは、これまで経験・勘を頼りに多大な工数がかかっていた要員配置計画の作成において、現場の繁忙状況や売上などの実績と勤務条件を組み合わせ、独自の方法論（最適化モデル）で最適解を素早く算出します。これにより、現場の変動に迅速に対応する勤務シフト・要員配置計画/管理を実現します。この結果、繁忙時に人員不足によって生じるビジネス機会の損失を最小化し、スタッフ間の勤務の公平化や人件費の合理化も可能となります。

WINWORKS One バージョン 2.0 提供開始の背景

国内初の仕事量・要員需要予測に基づく勤務スケジュール最適化ソフトウェアの販売開始後、2年間が経過し、顧客ベースが大幅に拡大いたしました。初期のブランド小売り、専門店のセグメントに加えて看護介護系病院、ホテル、携帯ショップおよびコールセンターなどのセグメントにおいても広く導入されるに至りました。その結果、スピードや機能および操作性に対する要望が高度化し、今回の WINWORKS One 2.0 の開発および提供に至りました。

WINWORKS One 2.0 の主な概要は次の通りです

■ SaaS 対応力の強化

- スケーラブルなサーバーアーキテクチャーを採用することにより、複数サーバーでの負荷分散、顧客毎のセキュリティの確保及び SSL によ

る情報漏洩の防止機能を強化致しました。

■ 主な機能拡張

- 勤務表を最適化した後の人員の増減に対応するために、分割最適化や部分最適化の機能を拡充しました。これにより、ビジネスの変化をダイナミックに勤務計画の最適化として勤務表に取り組むことが可能になりました。この DPO(Dynamic Partial Optimization)機能は他社にないユニークな特徴です。更に、勤務条件を変更して最適勤務計画のシミュレーションを行うことにより、ビジネスの需要に応じた現場の最適人員数の把握がより正確に行えるようになりました。

■ UI の大幅改善

- Ajax などの最先端のソフトウェアテクノロジーを多用し、従来のインターネット型業務系ソフトウェアでは実現出来ていなかった高度で使いやすい対話型の操作性を実装しました。

■ Ruby On Rails の採用

最新の言語で全面的に書き換えることにより、従来のバージョンに比べ、迅速な開発とメンテナンス工数の大幅な削減を可能にしました。

この WINWORKS One 2.0 は同日をもってパートナー企業へも同時に提供を開始致します。これにより、製品力の強化、パートナーとの協業及び主要セグメントでの顧客実績が出来上がったので、更なる営業活動の拡大により、SaaS ベースで 2009 年に年間 10 億円の売り上げを目指します。

< 本件に関するお問い合わせ先 >
ウィンワークス株式会社 森
電話：(03)3503-5262
Eメール：mktg@win-works.com